

愛知県立芸術大学 アーティスト・イン・レジデンス2017

大坪 晶

Akira Otsubo exhibition "Shadow in the House"

# Shadow in the House



Shadow in the House\_Honda Tadatsugu House, Type C Print, 2017

2018年1月6日/土 - 2月18日/日 開館日: 金曜日 - 日曜日・祝日 時間: 11:00 - 19:00 会場: アートラボあいち

主催 | 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 企画 | 愛知県立芸術大学 芸術創造センター 協力 | あいちトリエンナーレ実行委員会

# Shadow in the House Akira Otsubo exhibition



Shadow in the House\_Yokiso, Type C Print, 2017



Shadow in the House\_Honda Tadatsugu House, Type C Print, 2017



Shadow in the House\_Nagoya-ToujikiKaikan, Type C Print, 2017

「Shadow in the House」シリーズは、時代の変遷に伴って多層的な記憶を持つ家の室内空間を長時間露光によって撮影し、室内で蠢く身体の痕跡を「影」として写し込む写真作品です。美術作家・写真家の大坪 晶はこれまで、複雑な歴史を持つ室内に残された個人の記憶と史実に着目し、制作を行ってきました。今回、愛知県立芸術大学 アーティスト・イン・レジデンスにて、県内に現存する「接収住宅」計3件と公共建築1件を撮影しました。「接収住宅」とは、第二次世界大戦後、連合国占領軍により、将校とその家族の住居として強制的に接収された個人邸宅のことで、その多くが近代的な設備の整備や洋風の改装が施されたことから、戦後日本の住環境（精神風土）の起源という側面も持っています。

室内を撮影する際には、古川友紀（ダンサー）が写真内の「影」となることによって、記録と表現が交差する新しい可能性を提示しています。場所の選定にあたっては、研究者から提供を受けた論文や資料を参照し、並行して関係者への聞き取りを行っています。また、プロジェクトメンバーである高嶋 慈（美術批評家）は、「記憶」の想起、「写真」をめぐるメディア論的な問い、「ドキュメンタリー」の真正性をめぐる問題について考察する批評テキストを執筆し、「Shadow in the House」が持つ意義を美術・写真批評の射程から提示します。これらにより、歴史ある建築を守り継いでゆく意義を示すとともに、日本における接収の実態や生活様式の変遷が、今日の私達の文化や精神的背景にどのように影響を与えているのかについて、考える機会を提供します。展覧会では、「Shadow in the House」を写真作品、調査資料、批評テキストを用いた複合的なインスタレーションとして展開することで、鑑賞者の能動的な読み取りや記憶の想起を促す場を作り出します。

## 関連イベント | シンポジウム「記憶 ⇄ 記録をつなぐ」Vol.1

2018年1月27日/土 16:00~18:00 (参加無料、予約不要)

登壇者：駒井章治 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 准教授)、堀田典裕 (名古屋大学大学院 工学研究科 助教)、大坪 晶

- 第一部** 1: レジデンスを振り返って (Shadow in the House 制作プロジェクト: 大坪晶)  
2: 愛知の戦後建築、その記録と記憶 (堀田典裕)  
3: 記憶をつなぐ: 脳からみた記憶のかたち (駒井章治)

## 第二部 ディスカッション「記憶 ⇄ 記録をつなぐ」

参加者: 大坪 晶、堀田典裕、駒井章治、高嶋 慈

### 協力 (敬称略)

高嶋 慈、古川友紀 (ダンサー)、名古屋市市政資料館、名古屋市歴史まちづくり推進室、岡崎市、名古屋陶磁器会館、堀田典裕 (名古屋大学大学院 工学研究科 助教)、村上しほり (神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 研究員)、山中節子

大坪 晶 | Akira Otsubo <http://akiraotsubo.info>

2002年に京都文教大学 臨床心理学科を卒業後、2011年に東京藝術大学 先端芸術表現専攻修士課程修了。2013年にチェコ共和国国費留学生として、プラハ工芸美術大学 (AAAD) 写真専攻修士課程修了。主な受賞歴に2016年 KYOTOGRAPIE KG+ public award受賞 (KYOTO ART HOSTEL kumagusuku内 ozasahayashi\_project)、2015年 Nikon Salon 三木淳賞奨励賞、2014年 TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 審査員特別賞 (後藤繁雄選)、2010年 天王寺Mio 写真奨励賞 審査員特別賞 (森村泰昌選)。

同時開催 2018年1月6日 (土) ~ 2月18日 (日)

サイト&アート01 今村遠佑「雪は積もるか、消えるか」

光や音、映像やオブジェなどを用いて既存の環境に介入し、人の記憶や経験に訴求する作品を生み出す今村遠佑の個展を開催します。

会場 | アートラボあいち3階

主催 | あいちトリエンナーレ実行委員会、アートラボあいち

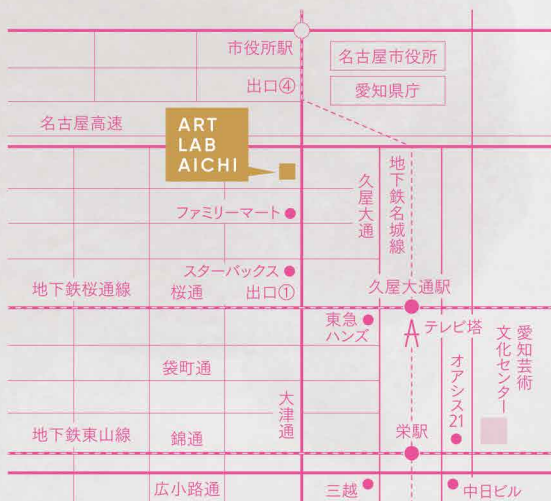
関連イベント...アーティストトーク

2018年1月6日 (土) 17:00-18:30

愛知県立芸術大学

芸術創造センター

ART LAB AICHI



### アートラボあいち

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4-13

愛知県庁大津橋分室2階・3階

Tel&Fax: 052-961-6633

E-mail: [ala@aichitriennale.jp](mailto:ala@aichitriennale.jp)

<http://aichitriennale.jp/ala/>

開館日: 金曜日・日曜日・祝日

時間: 11:00-19:00

### [交通案内]

・地下鉄名城線「市役所」4番出口から徒歩5分

・地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から徒歩8分

ART LAB AICHI

The Aichi Prefectural Government Otsubashi Office 2F-3F

3-4-13 Marunouchi, Naka-ku, Nagoya, Aichi 460-0002, Japan

Tel&Fax: +81-52-961-6633

E-mail: [ala@aichitriennale.jp](mailto:ala@aichitriennale.jp)

<http://aichitriennale.jp/ala/>

Open : Friday, Saturday, Sunday, National Holidays

Hours : 11:00-19:00